

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月30日

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（その2）（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	寝屋川市												
計画の目標	本市は平成24年8月14日豪雨被害を受けて実施してきた、公共下水道事業の古川雨水幹線整備事業および高宮ポンプ場の整備を浸水対策として引き続き実施します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,541	A	9,541	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	雨水整備をすすめ、雨水浸水対策を進める。 雨水対策整備率 雨水対策整備面積（ha） / 雨水対策計画面積（ha）	33%	%	34%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	ポンプ場	新設	高宮ポンプ場事業	雨水ポンプ場建設 雨水管渠	寝屋川市						7,463	-	
	A07-002	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	古川バイパス管事業	雨水管渠	寝屋川市						1,717	-	
	A07-003	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	東神田分区整備事業	内水対策 雨水管渠	寝屋川市						250	-	
	A07-004	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(雨水)	新設	大利雨水管事業	内水対策 雨水管渠工事 実施設計	寝屋川市						111	-	
											小計						9,541		
											合計						9,541		

交付金の執行状況

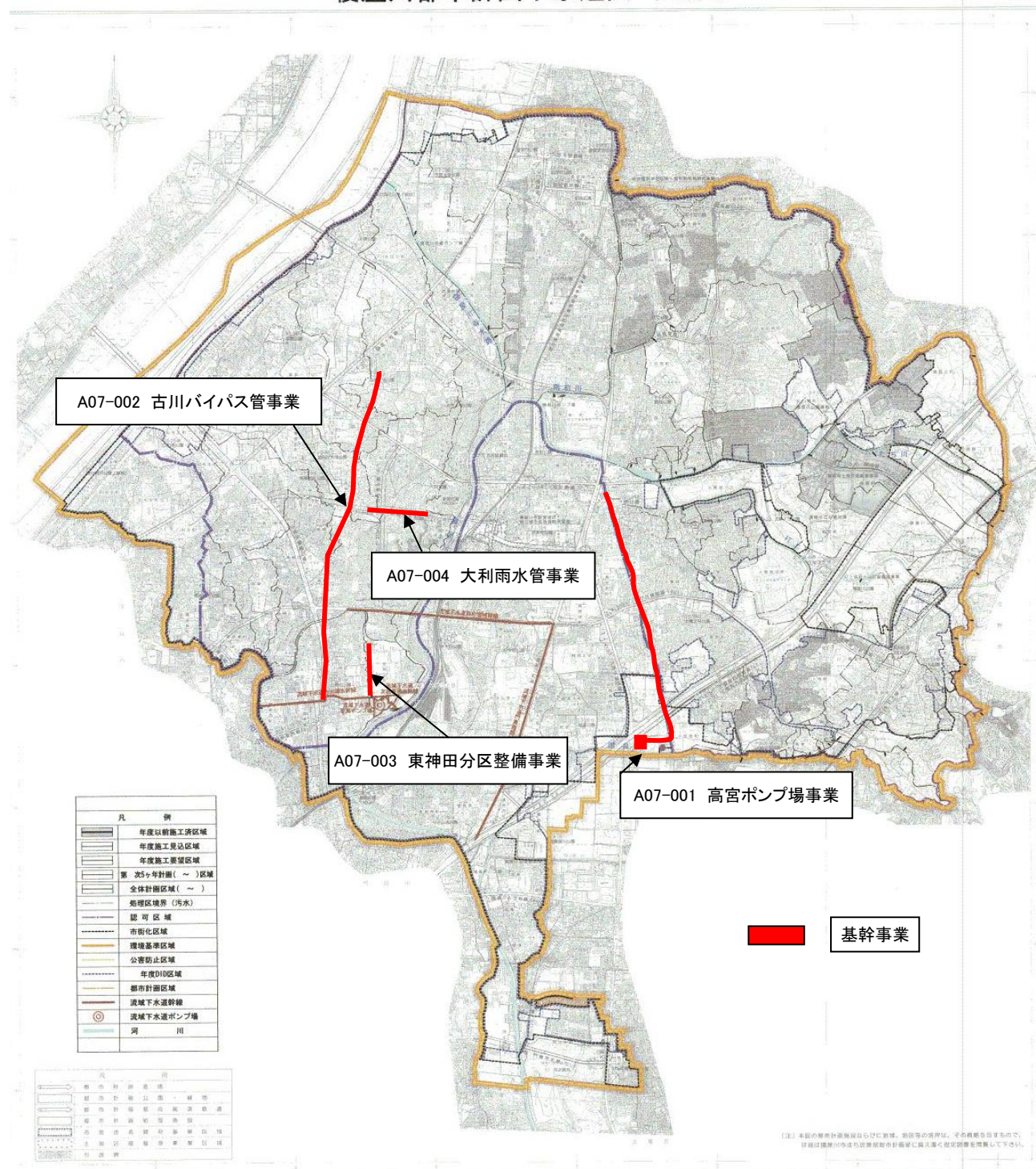
(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	595	1,204	789	607	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	43	0	
交付額 (c=a+b)	595	1,204	832	607	
前年度からの繰越額 (d)	256	247	603	596	
支払済額 (e)	604	848	839	814	
翌年度繰越額 (f)	247	603	596	389	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備(その2) (重点計画) (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	寝屋川市

寝屋川都市計画下水道図 (雨水)



事前評価チェックシート

計画の名称： 寝屋川市公共下水道の整備（その2）（重点計画）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) 基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○